

2024・小学校中学年「さようなら プラスチック・ストロー」

- この本をえらんだ理由は だからです。
- この本を読むまで、私にとって「プラスチック／ストロー」とは、 でした。
- もしストロー／プラスチック製品が、なかつたら／使えなくなると、 だと思いました。
- もし私たちがプラスチック・ストローを大量に使い続けたら、（かんきょうに悪い／自然をはかいしてしまう／人の住みづらい世界に～／空、でも便利なものがなるなるのはつらい）と思いました／感じました／考えました。
- 私の一番なくなったら困る／便利だなと思う／生活中必要な プラスチック製品 は、 です。
- なぜなら だからです。
- 私が（ストローについて）はじめて知った／なるほどと思った／おどろいたことは です。
- なぜなら だからです。
- ストロー／プラスチック製品について、 ということを知って だと思いました。
- 読みおわると、（かんきょうについてもっと学びたい／一人一人が気を付ける必要がある／便利だけどムダ使いはよくない／ストローだけが悪者じゃない） と思いました／感じました／考えました。
- 私も【便利で何気なくやっていた習慣を見直した／知ることでどんどん興味をもって気になりはじめた体験】
①状況の説明：いつ・どこで・だれが／だれに ②行動：きっかけ／理由・何を・どうした・どのように／どのくらい・なぜ／どうして ③状況／心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか ということがありました。そのこと／経験から、（知ることで改善できる／興味を持つことで視野が広がる／新しいしきや発見があると～／身近にありすぎて気づきにくいことに～） という考え方になりました／と思いました。
- もしプラスチック・ストロー／プラスチック製品を ムダに使う人／使わないように活動する人を見たら、 と思いました。
- なぜなら だからです。
- この本を読むことで、ストロー／プラスチック製品／かんきょう／便利なもの の イメージが／に対する考え方／意識が変わり、 と思うようになりました。これからはもっと、自分の使っているものにきょうみを持つ／かんきょうに対する取り組みを知る／今だけではなく、未来についてのことを考えたい と思うようになりました。